

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 和田 一広	
環境-19	名越クリーンセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	環境施設課
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 令和4年(2022年)度実施した事業の概要

・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
 ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	名越クリーンセンター維持管理事業	光熱水費、施設維持等消耗品費等	-	- / -	-	-	100%
				222,820 / 186,524	343,030		
02	名越クリーンセンター維持修繕事業	維持修繕	計画停止を除く施設停止日数をゼロとする。 (%)	100 / 100	100	100	100%
				161,282 / 161,467	147,409		
03	焼却施設、粗大ごみ処理施設運転事業	焼却設備、破砕機等運転管理業務委託料	目標平均処理量以下の日数をゼロとする。 (%)	100 / 100	100	100	100%
				133,188 / 133,188	133,188		
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	23,117 / 68,704	64,490		
			一般財源	494,173 / 412,475	559,137		
			事業費の合計(千円)	517,290 / 481,179	623,627		
			人件費(千円)	31,903	32,731		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	4.2	4.2	4.2	4.2		
会計年度任用職員	7.0	9.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	名越クリーンセンター維持管理事業	施設を適正に運営するための維持管理であり、指標の設定は困難である。	ごみの適正処理のためには、施設の適正な維持管理が必要である。	施設老朽化のなか、最大限の施設能力により、日々変わるごみに適切に対応処理しなくてはならない。施設寿命を見据え、ごみの広域処理の実現を目指す。
02	名越クリーンセンター維持修繕事業	適切な維持修繕を行うことにより、施設運営を計画通り実施し、目標を達成した。	ごみの適正処理のためには、施設の適切な維持修繕が必要である。	突発的故障のないよう予防保全型修繕を実施していく。施設寿命を見据え、ごみの広域処理の実現を目指す。
03	焼却施設、粗大ごみ処理施設運転事業	焼却施設運営を適切に行うことにより、日々発生するごみを安定的に処理し、目標を達成した。	ごみの適正処理のためには、施設の適切な運営が必要である。	最大限の施設能力を活かして、日々変わるごみの量及び質に適切に対応処理しなくてはならない。施設寿命を見据え、ごみの広域処理の実現を目指す。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
令和6年度(2024年度)末の焼却停止に見据え、適正に運営するための必要な維持管理を行う。ごみ焼却量を徐々に削減し、今泉クリーンセンターと施設機能の統合を図ることによる効率化を検討する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--